

まちの ニュース



反復横跳びなどの体力測定を行い、現在の身体能力を把握します

スキースーパーキッズ養成講座がスタート

スキー競技の楽しさと、基礎体力、スポーツ精神を養う八幡平市スキースーパーキッズ養成講座の第1回は5月11日、田山体育館で行われました。

市内のスポーツ少年団に入っている24人が、全13回の講座に挑戦。スポーツ選手として必要な基礎体力を養うトレーニングなどのほか、水分補給や栄養についての知識を



スキースーパーキッズを目指す児童たち

保護者とともに学び、修了者をスキースーパーキッズに認定します。

開講式では、アルベールビル冬季五輪金メダリストの三ヶ田礼一さんが「大好きになることが上達の秘訣です。オリンピック選手を目指して頑張ってください」と児童たちを激励しました。

第1回の講座では、初めて顔を合わせた児童たちが握手をしながら互いに自己紹介。反復横跳びや50メートル走、ソフトボール投げなどの体力測定を行いました。

参加した児童たちは、将来のオリンピック選手を目指して意欲を高めていました。



↑カウンターでの貸し出し業務を体験する参加者

←館内を見学しながら、図書館のさまざまな仕事について理解を深めました

子ども図書館体験は5月10日、市立図書館で開催されました。

これは、4月23日から5月12日までの子どもの読書週間に合わせ、初めて実施したものです。参加した児童たちは、「子ども図書館たいけん隊」に入隊し、図書館体験の始まりです。

まずは、説明を受けながら館内を一周します。普段は入

ることができない書庫などを見学しながら、図書館の仕事について理解を深めました。

次は、カウンターでの受け付け体験です。図書資料の貸し出し受け付けや、返却された図書資料を書架に戻す仕事などを行いました。

参加した児童たちは、「大きくなら図書館の仕事をしたい」と笑顔を見せていました。

体験を通じて本と図書館に詳しくなります

スズランと思いやりの心を届ける慰問活動

渋川小学校(佐藤せつ子校長、児童12人)の全校児童は5月21日、市内の病院や福祉施設などを訪問し、スズランの花を贈る慰問活動を行いました。

児童が校庭の花壇で育てたスズランを「早く元気になってください」と患者や施設入所者を励ましながら手渡ししました。この活動は、同校の森林愛護少年団活動の一環として行われている恒例の行事で、昭和37年から続いています。



スズランの花を贈る渋川小学校の児童

みんなで流した汗は収穫へのはじめの一步

地域住民の交流と食育をテーマに5月10日、荒屋公民館ふれあい農園で農業体験が行われました。

地域住民のボランティア10人を講師に招き、小学校3年生までの児童7人がジャガイモ植えなどに挑戦しました。

全員が初体験の農作業に悪戦苦闘しながらも、3カ月後に待っている収穫への期待に胸を躍らせながら、児童は笑顔で農作業に汗を流していました。



初体験とは思えない手際のよさで植えていきます

寺田学童保育クラブの移転開所式は5月19日、寺田地区構造改善センターで行われました。

開所式で武田常徳副市長は、「学童クラブは、市の子育て支援策の中でも重要な位置付けです。仲良く放課後を過ごしてください」とあいさつしました。

同クラブは、これまで寺田小学校内に開設していましたが、施設が手狭なことから移転しました。

新しい寺田学童保育クラブはとても広いよ



放課後をみんなで楽しく過ごす児童



真剣な表情でクラブを振る参加者

グラウンドゴルフに親しむ教室と春季グラウンドゴルフ交流会は5月12、14の両日、松尾総合運動公園内特設コースで行われました。

教室は、約50人の市民が参加。ルール説明を受け、実際にコースでプレーしながら、理解を深めました。

春季交流会には約40人が参加しました。岩手山を遠くに眺めながら、白熱したプレーを展開。愛好者同士の交流を深めました。

グラウンドゴルフで親ぶくを深める交流会

新コースを駆ける市民ランナーの春の祭典

市民の体力増進と親睦を深めることを目的に5月11日、第38回安代地区健康マラソンと第20回安代地区親子マラソン大会が開催されました。安代地区体育館前を発着点に約90人の参加者が健脚を競いました。

昨年の大雨の影響で、一部ルートが変更され、新コースでの開催となった今大会。参加者は、沿道からの声援を背に、新緑の中をさわやかに駆け抜けていきました。



号砲とともに元気よく飛び出す参加者

市庁舎建設の基本構想をわかりやすく解説



基本構想について理解を深めました(写真は柏台分館)

市庁舎建設基本構想について理解を深めてもらおうと、5月26日の柏台分館を皮切りに市内11会場で行った説明会を開催しています。庁舎建設についての市の考え方をまとめたスライドなどを使い、わかりやすく解説します。今後の開催日程は次のとおりです。
▽6月6日(金)・浅沢公民館、9日(月)・畑公民館、10日(火)・平館公民館、11日(水)・寺田公民館、13日(金)・大更公民館、17日(火)・田頭公民館

自衛官募集相談員の委嘱状交付式は5月14日、市役所大会議室で行われました。

相談員は自衛官志願者への情報提供や広報活動などを実施。任期は2年間です。委嘱状を交付した人は次のとおりです。(敬称略)

▽上林正(大更)、高橋昭二郎(大更)、小林繁(平館)、沢口進(平笠)、田村百十子(松尾)、中軽米保松(尾寄木)、齊藤一夫(山口)、工藤和吉(姥子石)、安勝勝広(下モ川原)

地域の安全を担う志願者の相談を受け付け



入院患者の世話を通じて、看護の心を学びました

医療や看護に理解を深めてもらおうと、国保西根病院は5月15日、ふれあい看護体験を行いました。市内に住む平館高校の生徒11人が参加。院内を見学し、薬剤師や放射線技師など多数の職種で病院が支えられていることに理解を深めました。白衣に身を包んだ生徒は、看護師の指導を受けながら足浴やつめ切りなど入院患者の世話を体験し、看護の心を学びました。

ふれあい看護体験で看護の心を身に付ける



自衛官募集相談員の委嘱状を交付しました

園児たちが横断歩道の渡り方を勉強します

松野保育所の交通安全教室は5月23日、同保育所で行われました。

晴れ渡る青空の下、園児73人が命を守る大切な交通ルールを勉強しました。交通指導隊員がミニ信号機を使い、信号の意味と横断歩道の渡り方

を説明。説明を受けた園児たちは、ミニ信号機の交差点と横断歩道を使い、学んだことの実践に挑戦します。歩行者用信号をよく見て青信号を待ち、左右を確認しながら元氣良く手を挙げて横断歩道を渡りました。



↑手の挙げ方など、横断歩道を渡る時の注意事項を学ぶ園児

→園児たちは、元氣良く手を挙げて、みんなで横断歩道を渡る練習をしました



中村スエさん(荒屋新町)は5月3日、めでたく100歳の誕生日を迎えました。

中村さんは荒木田で生まれ、平館で育ちました。結婚して、子ども10人を育てながら商店を営み、手作りのもち・おやきなどが人気を集めました。若いころから病気をせず、子どもたちのために頑張る働き者のおばあちゃんです。

当日は、田村正彦市長がお祝いに駆け付け、「子どものころに、中村さんのおやきを食べました」と言葉掛けながら、お祝いの花束を贈呈し



家族に祝福される中村さん(写真中央)

津志田さんは寺田地域の農家に嫁ぎ、子ども5人を育てました。農業に精を出す働き者で、歌が好きという一面も。食べ物の好き嫌いはなく、お酒が好きというとても元氣なおばあちゃんです。

家族に祝福され、笑顔を見せる津志田さんに武田常徳副市長がお祝いの花束を贈りました。

ました。たくさん家族に囲まれて、中村さんは笑顔を見せていました。

津志田トクさん(帷子)

は5月5日、めでたく100歳の誕生日を迎えました。



家族に祝福される津志田さん(写真中央)

めでたい百寿に家族みんなが笑顔でお祝い